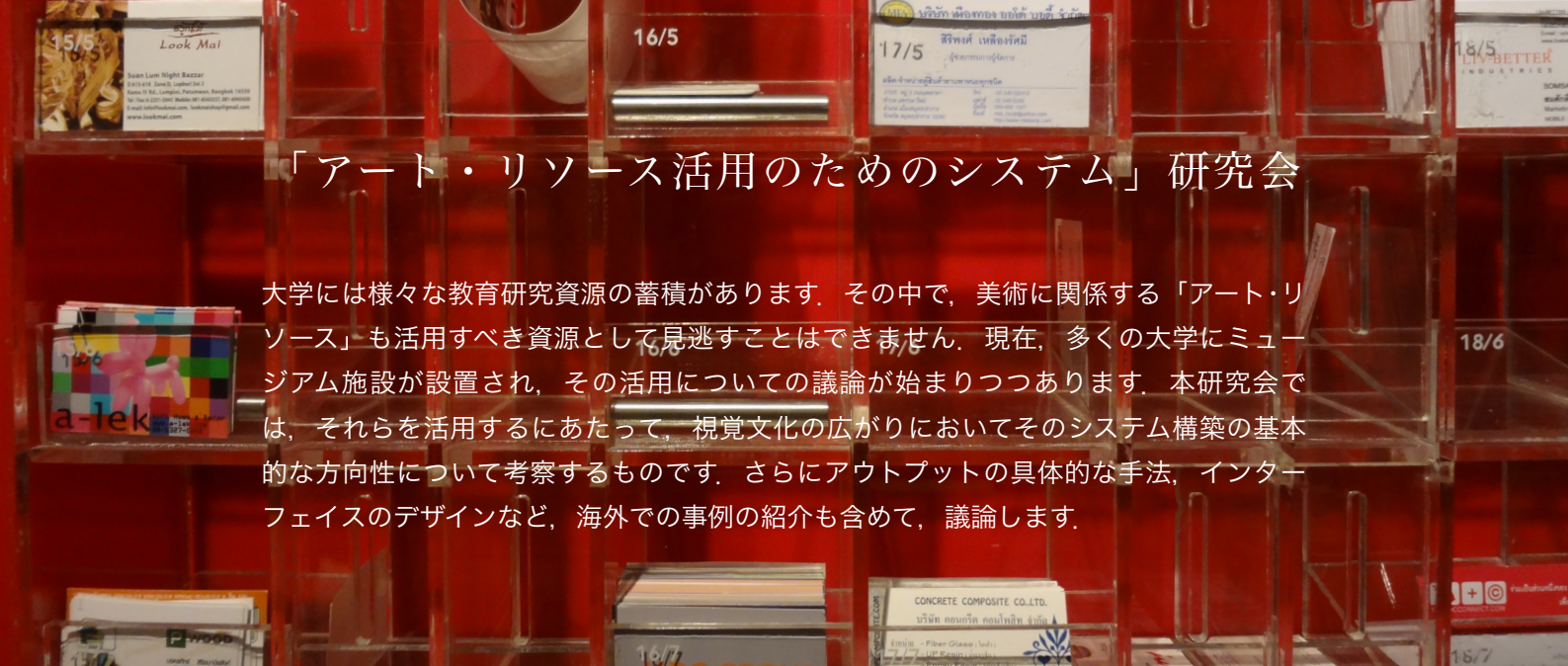




「アート・リソース活用のためのシステム」研究会

大学には様々な教育研究資源の蓄積があります。その中で、美術に関係する「アート・リソース」も活用すべき資源として見逃すことはできません。現在、多くの大学にミュージアム施設が設置され、その活用についての議論が始まりつつあります。本研究会では、それらを活用するにあたって、視覚文化の広がりにおいてそのシステム構築の基本的な方向性について考察するものです。さらにアウトプットの具体的な手法、インターフェイスのデザインなど、海外での事例の紹介も含めて、議論します。

日時： 11月12日〔土〕 13-16時

会場： 名古屋大学情報科学研究科棟1階 第1講義室

主催： 科学研究費補助金（基盤研究(B)）

「大学における『アート・リソース』の活用に関する基礎的研究」

共催： デザインリテラシー研究会

プログラム

- | | | |
|-------|-------|---|
| 13h | 基調講演1 | 茂登山清文（名古屋大学情報科学研究科）
「視覚文化としてのアートリソース」 |
| 13h30 | 招待講演 | 伏見清香（広島国際学院大学情報デザイン学部）
「アルス・エレクトロニカとデザイン」
（休憩） |
| 14h15 | 基調講演2 | 田中佐代子（筑波大学人間総合科学研究科）
「作品鑑賞用携帯ガイドの現状と可能性」 |
| 14h45 | 研究発表1 | 成 知垠（名古屋大学情報科学研究科博士後期課程）
・張冠文（同博士後期課程）・鄭琦（同研究生）
「作品鑑賞の共有のための測定」 |
| 15h15 | 研究発表2 | 林桃子（名古屋大学情報科学研究科博士後期課程）
「文化資源に導くためのプレ・プロセッシング」 |

問い合わせ： 名古屋大学大学院情報科学研究科茂登山研究室

T/F 052-789-4774

motoyama@is.nagoya-u.ac.jp